

< 病理診断 >

A.一般目標

病理診断部門の研修は指導医のもとに病理解剖、病理組織診断に参加することにより、臨床病理の基礎を理解し、主治医に病理組織診断を通じて臨床経過と疾患本態の関連を総合的に説明する能力を身につけることを目標とする

B.行動目標、方法および評価

行動目標		研修方法	評価方法
病理解剖	解剖手技、手順の理解	実習、自己学習	観察
	各臓器の肉眼所見の理解	実習、自己学習	観察
	肉眼所見記載方法の習得	実習、	口頭試問
	剖検所見の全体像把握と記載	実習	口頭試問
	病理学的診断・思考過程の理解	実習、自己学習	口頭試問
手術材料	臓器の写真撮影法の習得	実習	実地試験
	臓器固定法の理解	実習、自己学習	観察
	迅速凍結組織標本の作製	実習	実地試験
	固定後手術材料の肉眼的記載	実習、自己学習	実地試験
	固定後手術材料の切り出し法の理解	実習、自己学習	観察
	癌取り扱い規約に沿っての記載	実習、自己学習	口頭試問
組織学的検索	HE 染色法の経験	実習	観察
	特殊染色の理解と応用	実習、自己学習	口頭試問
	免疫染色の理解と応用	実習、自己学習	口頭試問
	病理組織学診断への参加	実習、自己学習	観察

< 病理 > 週間予定表

	月	火	水	木	金
8:30 ~ 12:00	手術材・生検材 切り出し	手術材迅速組 織標本作成	酵素免疫染色	骨・軟部腫瘍 レクチャー他	手術材希少例 撮影
13:00 ~ 17:30	病理診断 組織染色	病理診断 剖検材切り出 し	病理診断 血液/病理カンファ ランス	病理診断 細胞診断	内分泌病理 細胞診断 レクチャー他-
17:30	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ

付記

剖検診断書レポートを提出すること(最低 1 症例)。

手術材診断書を作成する(5 症例以上)。

生検材診断書を作成する(30 症例以上)。